



木を植えています

未来の子どもたちのために



2024年4月11日
公益財団法人イオン環境財団

「アースデイ東京2024」に出展

いのちあふれる美しい地球を次代へ

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田 元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役 会長 以下当財団）は、東京代々木公園で開催されるアースデイ東京2024（注¹）に特別協賛し「いのちあふれる美しい地球を次代へ」のテーマで出展いたします。

メイン会場のテントブースでは、4月13日14日の2日間、キンモクセイほか5種の植樹体験や、当財団の助成先4団体による里山里川の保全活動の紹介とワークショップを実施します。

また、14日はアースデイコンサートステージにて、QuizKnockのふくらPさんをお迎えし、トーク&クイズショーを行います。絶滅危惧種であるニホンウナギや、里山伝承文化のメカイ（注²）を紹介し、環境クイズを通し「里山里川の種と文化の保全」について考えます。

当財団は、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、今後も様々な環境活動に取り組んでまいります。

注1 アースデイは1970年に始まり、世界175カ国、約5億人が参加する世界最大の地球フェスティバルです。「アースデイ東京」は2001年から代々木公園で開催されており「エコ」「オーガニック」「サステナブル」「ダイバーシティ」「インクルーシブ」といった概念を基本としています。

注2 メカイは目籠（めかご）と表され、多摩地域で自生する篠竹（アズマネザサ）で編む六つ目の籠で、里山の開発と共に存続が困難になっています。篠竹の伐採から行う製法は「奥多摩のメカイ制作技術」として東京都の無形民俗文化財に指定されています。

【概要】

開催日時 2024年4月13日（土）10:00～17:30
14日（日）10:00～17:30

開催場所 東京都立代々木公園 イベント広場・ケヤキ並木

主催 アースデイ東京2024実行委員会

特別協賛 公益財団法人イオン環境財団

出展内容 4月13日（土）14日（日）

<テントブース>

- ・植樹体験 ・クイズラリー ・環境壁新聞発表
 - ・環境配慮型商品展示・フェアトレードすごろく
 - ・リサイクル体験ゲーム・オーガニック野菜販売と野菜苗づくり
- ※販売収益金は当財団の植樹活動の苗木代として使用させていただきます。

4月14日（日）

<アースデイコンサートステージ>

- ・トークイベントと環境クイズ（12:35～13:15）

<ハローアースステージ>

- ・環境壁新聞発表（13:50～14:25）

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来多様なステークホルダーの皆さまとともに万里の長城での植樹をはじめとする「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業活動を中心に活動し、現在は持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

「植樹」

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、約1,268万本（2024年2月末現在）となります。

「助成」

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額1億円の助成支援を行っています。2023年までの33年間で累計の支援は3,436団体、助成金額は31億946万円となりました。現在は、「里山 commons の再生」をテーマに、里山（里地・里川・里海・里湖）の保全と利活用を推進している団体を支援しております。

「環境教育・共同研究」

様々な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しております。

大学連携では、早稲田大学、東京大学、東北大学、京都大学、千葉大学と地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムをスタートさせます。

また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生物多様性や地質遺産の保全と利活用との調和による持続可能な地域社会を目指し、教育や啓発活動で連携しています。

「顕彰」

生物多様性条約事務局(The Secretariat of the Convention on Biological Diversity)と連携し、当財団の設立20周年であった2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」日本開催を契機に「The MIDORI Prize for Biodiversity 生物多様性みどり賞」を創設しました。顕著な環境活動が認められる個人を顕彰するもので、これまでに17カ国19名の個人を顕彰しています。